#### 8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

### 「1]公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進の必要性

#### (1) 現状分析

本市の中心市街地は、JR常磐線石岡駅を中心に交通結節機能を有しており、鉄道、バス(高速バス、路線バス)、乗合いタクシーを利用して中心市街地に訪れることのできる利便性を有している。

しかしながら、平成 19 年 3 月末の鹿島鉄道の廃線、路線バスの一部廃止など公 共交通機関の利便性の低下が進んでおり、交通結節点であるJR石岡駅の乗車人員も 減少傾向にある(一日当たり乗車人員、H16:6,413 人⇒H19:6,139 人)。

そのようななか、乗合いタクシーの運行など、地域における新たな交通対策とともに、平成21年度に開港を迎える茨城空港へのアクセスとして、地方型BRTの導入が進められている。

#### (2) 公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進の必要性

合併により市域が広がり、鉄道との交通結節点である中心市街地と市域内を結ぶ公 共交通機関の利便性の向上が求められており、特に今後ますます高齢化が進行するなかでは、移動制約者に対する交通手段の確保が重要である。

中心市街地へ訪れやすい環境をつくっていくために、乗合いタクシーの運行維持、 地方型BRTの導入など公共交通機関の充実とともに、石岡駅及び駅周辺の環境整備、中心市街地及び市内の各種情報提供など本市の玄関口としての機能強化が必要である。

#### (3) フォローアップの考え方

毎年度末に各事業の進捗確認を行い、必要に応じて事業を促進するための措置を講じるものとする。

## [2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業 該当なし

## (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の	その他
内容及び			内容及び実	の事項
実施時期			施時期	
〇デ交テ社(タの〇中へ便の乗シ〇日事マ通ム会乗ク運内心の性た合一実〜業ンシ運実合シ行容市交のめいの施名ンシ運験合シ行 街通確のタ運時インシ運験いー 地利保、ク行期	石岡市社会福祉協議会	中心市街地に人が集まるための交通機能の強化のため、主に移動制約者の方の交通利便性の向上のため、乗合いタクシーの運行を維持する。今後の展開として、まちなか中継センター周辺の買い回り機能の向上や販促イベント等の充実により来街目的を拡充させ、利用率の向上を図る。これは、目標1「生活支援機能が享受でき、快適で安心して暮らせるまち」の達成に必要である。	〇支援措置の 内容 社会資本で 備総合の 一本の 一本の 一本の 一本の 一本の 一本の 一本の 一本の 一本の 一本	
O B 備 ( O B s 備 O B R 事掲 容 T ル 時 B H23~H26	石岡市	鹿島鉄道の廃線、路線バスの一部原 など、共交通機関の利便性の低で港域関の利便性の低空港への を記した地方型のはでは、 を活用が、できれば、できれば、できれば、 を記させ、 のあるができないがでする。 のおいたでは、 のおいたでは、 のおいたでは、 のおいたでは、 のおいたでは、 のおいたでは、 のおいたでは、 のおいたでは、 のおいたでは、 のおいたでは、 のおいたでは、 のは、 のは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	〇 内会総 都計 と連整施時間 本交再画体会業 H23~H26	

## (2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、			支援措置の	その他
内容及び	実施主体	   目標達成のための位置付け及び必要性	内容及び実	の事項
実施時期			施時期	
〇 B 備 (〇 B 空の整〇H21~H22	石岡市	鹿島鉄道の廃線、路線バスの一部廃止など公共交通機関の利便性の低下のなか、平成21年度に開港を迎える茨城空港へのアクセスとして、鹿島鉄道の廃線敷を活用した地方型BRT(バス専用道によるバス運行)の導入を図る。当該事業によって、定時性と速達性のあるバス運行が確保でき、自動アクセス性を向上させ、まちの賑わい回復につなげる。これは、目標1「生活支援機能が享でする。これは、時適で安心して暮らせるまち」の達成に必要である。	○支援措置の 内容 街路事業 ○実施時期 H21~H22	
○ B 備 ( ○ B 停るン備 ○ B 作 再内Rに上チ 実 1 ~ H21~H22 を 業 スすべ整 期 H21~H22	石岡市	鹿島鉄道の廃線、路線バスの一部廃止など公共交通機関の利便性の低下のなか、平成21年度に開港を迎える茨城空港へのアクセスとして、鹿島鉄道の廃線敷を活用した地方型BRT(バス専用道によるバス運行)の導入を図る。当該事業によって、定時性と速達性のあるバス運行が確保でき、自動アクセス性を向上させ、市街地への回復につなげる。これは、目標1「生活支援機能が享でする。にも、快適で安心して暮らせるまりの達成に必要である。	○ 支援措置の 内容 都市交通シ ステム整備 事業 ○実施時期 H21~H22	

## (3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、			支援措置の	その他	
内容及び	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	内容及び実	の事項	
実施時期			施時期		
〇事業名 BRT整	かしてつ 沿線地域	鹿島鉄道の廃線、路線バスの一部廃止な ど公共交通機関の利便性の低下のなか、	〇支援措置の 内容 地域公共交		
備事業 〇内容 BRT走行	公共交通 戦略会議	平成 21 年度に開港を迎える茨城空港へのアクセスとして、鹿島鉄道の廃線敷を活用した地方型BRT(バス専用道によ	通活性化· 再生総合事		

のためのバ ス車両の導 入 〇実施時期 H21~H22	るバス運行)の導入を図る。 当該事業によって、定時性と速達性のあるバス運行が確保でき、自動車を利用でできない方の中心市街地へのアクセス性を向上させ、まちの賑わい回復につながる。 これは、目標1「生活支援機能が享受でき、快適で安心して暮らせるまち」の達成に必要である。	業 〇実施時期 H21~H22	
---	---	-----------------------	--

# (4) 国の支援がないその他の事業 該当なし

